

# クロマダラタマムシ

## コウチュウ目タマムシ科

*Nipponobuprestis querceti* (E.Saunders)

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー なし

### 選定理由

全国的にも稀な種である。本県は日本海側の北限に近く、産地が局地的で、個体数もきわめて少ない。

### 形態

体長は17~28mmで、タマムシとしては大型種。アオマダラタマムシに似ているが、より丸い体形であり、上翅の縦隆脈がやや弱い。体色は黒緑色で、黄、橙、紫などの金属光沢の斑模様を有している。メスの腹端は丸く、オスは三角形にえぐられる。

### 国内分布

本州（関東以西）、四国、九州。

### 県内分布

加賀市、かほく市。

### 生態

成虫は6~8月頃に現れ、エノキの葉を後食し、また、その衰弱部に集まる。幼虫はエノキの枯死部や衰弱部を食し、成虫になるまでは2年以上を要する。晩夏に羽化した後、そのまま蛹室で越冬する。

### 生息地の条件

平地や丘陵地において、食樹となる大木のエノキの林が存在することが重要である。

### 生存の危機

知られている生息地は2箇所のみで、しかもごく限られた場所のため、個体群を維持することは困難な状況にある。また、伐採や開発等による生息地の消滅が危惧される。平野部から里山に残存するエノキの大木の保全と本種の生息調査が必要である。(A)

### 特記事項

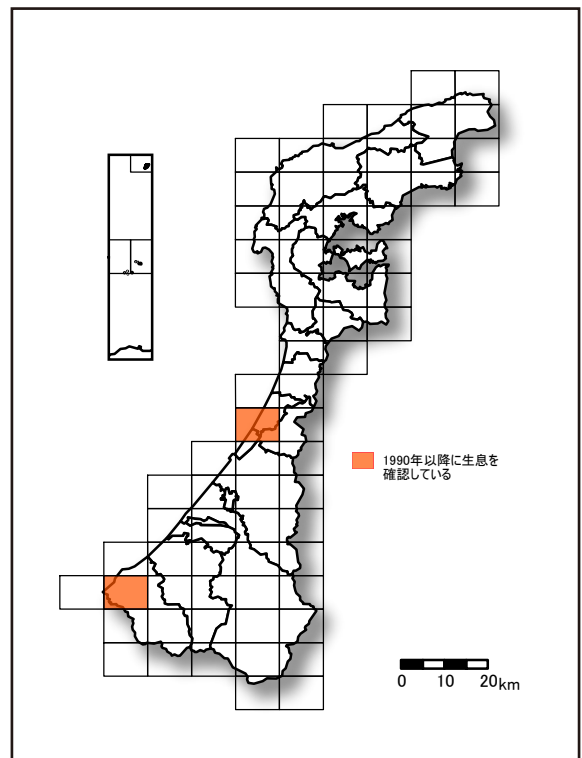
本種の幼虫はエノキの枯死部の衰弱部分を好むようで、完全な枯死部を食するヤマトタマムシとの棲み分けも観察されている。

### 参考文献

高羽正治 1998. コウチュウ目タマムシ科. 石川県の昆虫 : 155-157. 石川県自然保護課.  
浅地哲也 2003. 大型タマムシ3種の記録. 翔, (172) : 1.



写真提供者: 竹谷宏二



県内の分布